

事業承継座談会

2025

7

多くの不動産オーナーの方々から「事業承継について悩んでいる」とのお声をいただいていたことを受け、このたび初めて事業承継座談会を開催いたしました。正解のないテーマだからこそ、立場や背景の異なる皆様に自由に語り合っていただくことで、考えや思いを整理し、新たな気づきを得るきっかけとなる場を目指しました。



不動産オーナーならではの事業承継に関するお悩み

- ☒ 相続問題も絡んでくる 事業と資産の承継が混在し複雑化しやすい
- ☒ 承継のタイミング 後継者が他の仕事をしている・遠方に住んでいるケースも多い
- ☒ 資産・負債規模の大きさ 資産規模の大きさに比例し、借入やリスクの規模も重くなりがち
- ☒ 法的・税務上の課題 相続税評価と実際の市場価値との乖離により、税務計画が複雑化
所有権移転、登記、契約など、法務手続きにも専門的な知識が必要

座談会の様子



これまで「リフォーム」をテーマに座談会を開催してまいりましたが、いずれも多くのご参加とご好評をいただいております。今回はその流れを受けて「事業承継」をテーマに初めての座談会を開催しました。

初開催ということもあり、私たちからテーマや議題を設けることなく、参加者の皆さまには自己紹介や近況報告から自由に語っていただくスタイルとしました。今回は、事業を承継する側・される側双方の立場の方にご参加いただきましたが、不動産オーナーという共通の背景を持つ方々同士で、普段なかなか身近な人には相談しづらい事業承継という繊細なテーマを語り合える場となり、終始和やかな雰囲気に包まれていました。

約2時間半にわたる座談会は、「時間が足りない!」との声があがるほどの盛り上がりでした。参加された皆様にとって考えや思いを整理し、互いの経験や悩みに触れる貴重なひとときになっていれば幸いです。

📢 ご参加者の声



後継者が仕事をしていたり子育て中であったりで忙しい。平日に行う打合せ（管理会社や税理士等）には参加できない。どのように引継ぎをしていけばいいのか・・・

後継者が不動産事業を継ぐ気があるのかどうか分からない。
ハッキリしてくれないので、こちらも承継の計画や準備がしづらい。



家族・親族間の小さなトラブルの積み重ねが不信感につながってしまう。
後継者本人よりもその周りの人が色々と言ってきて大変。

後継者に納得してもらうために、数字で共有している。
経営計画のシュミレーションを行い、データを適宜渡しているが、
安心感や意識付けに繋がっているようだ。



建物・土地は承継できるが、“経営”を引き継ぐのは大変。しかし、多くの人が建物や土地を移すことや、節税対策ばかり取り組んでいるように感じる。
大切なのは知識や経験、信頼できる取引先等を継承することだと思う。

一人で悩んだり考えすぎたりしない方が良い。
家族も巻き込んでみんなで危機感を持って考えていきたい。



皆様のお話を聞いていて、土地・建物など形ある資産の形式的な承継よりも、経営理念や人脈・経験のような無形資産の継承の方が難しく、悩まれている方が多い印象を受けました。

税理士事務所として、資産承継のサポートはもちろんのこと、想いやノウハウといった目に見えにくい部分まで含めてその両面を包括的に支援していくことの大切さを、あらためて実感いたしました。



🎬 関連動画のご紹介

【資産承継の一つの方法“家族信託”】
経験談のインタビュー動画です！



【不動産オーナー向け会計シリーズ】
1本5分以下の短い動画なので、忙しい後継者の方もぜひご覧ください。



発行日：2025年7月29日
作 成：プロテクトコンサルティング(株)
/高島聖也税理士事務所
住 所：福岡市博多区博多駅前3丁目
23-12博多光和ビル802号室
電 話：092-409-1292

HP：<https://www.takashima-tax.jp/>



「不動産オーナーのための相続対策」
高島聖也税理士事務所